

2023(令和5)年度 伊賀市文化振興プラン 事業カード提出一覧(伊賀市)

(令和6年5月8日現在)

資料2

【基本方針 1】誰もが文化芸術に触れ合える機会の創出（施策の方向Ⅰ 心の豊かさを目指して、Ⅱ 文化芸術をすべての市民に）																		
No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン 基本方針	事業目的	参加者数 開催数 開催経費 収入	R5 計画時	R5 実績	R5 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R6 方向性	R6 計画時	市総合計画	まちづくりアンケート	R4	R5速報値		
1		多文化共生理解講座	伊賀市国際交流協会	人権生活環境部 多文化共生課	1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅰ 2-Ⅱ 5-Ⅰ	多様な文化的背景がある市民が、お互いの文化を学び、正しい理解を深めることで多文化共生の地域づくりを進めます。	参加者数 開催数 開催経費 収入					100人 5回 270,000円 -	6-2 多文化共生	満足度 参画度	60.0% 45.1%	63.9% 40.3%		
1-1		多文化共生理解講座 （世界の料理教室）	伊賀市国際交流協会	人権生活環境部 多文化共生課	1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅰ 2-Ⅱ 5-Ⅰ	市民に世界の料理を紹介する機会を作る。	参加者数 開催数 開催経費 収入	100人 (5回) (300,000円) -	26人 2回 51,583円 13,000円	伊賀市食生活改善推進協議会やIIFA会員を講師に迎え、ブラジル、ペルー、中国、フィリピンにつながりのある市民が参加し楽しく料理をすることができた。	継続 中止・廃止							
1-2		多文化共生理解講座 （親子サッカー教室）	伊賀市国際交流協会	人権生活環境部 多文化共生課	1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅰ 2-Ⅱ 5-Ⅰ	JICA三重デスク、『伊賀FCくノ一三重』との3者共催。官民が協働し、スポーツを通じて日本人家族と外国人家族が国際交流を深める。	参加者数 開催数 開催経費 収入	(100人) (5回) (300,000円) -	33人 1回 -	日本のほか、ブラジル、ペルー、キルギスに繋がりのある15家族33人の参加があった。大人も子どもも皆真剣にボールを追いかけ、点が入るとハイタッチで喜び合っていた。国籍や年齢に関係なくスポーツを通じて国際交流ができた。	中止・廃止							
1-3		多文化共生理解講座 （世界とつながる写真展）	伊賀市国際交流協会	人権生活環境部 多文化共生課	1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅰ 2-Ⅱ 5-Ⅰ	世界に目を向け、国際意識を高め異文化に視覚的に触れる機会をつくる。	参加者数 開催数 開催経費 収入	100人 (5回) (300,000円) -	- 2回 13,675円 -	世界には日本と異なる多様な文化、価値観があることを知る。伊賀市には40か国以上の外国人が暮らしているが、展示写真から日本との生活程度の違いや文化の違いを読み解くことができ、世界の文化の多様性を発信することができた。	継続							
2		伊賀市国際交流フェスタ2023	伊賀市国際交流協会・伊賀市国際交流フェスタ2023実行委員会 伊賀市（多文化共生課）	伊賀市教育委員会	1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅰ 2-Ⅱ 5-Ⅰ	在住外国人と地域住民の交流の場を提供し、市民の国際意識の向上と相互理解、友好交流を深め、多文化共生社会の構築を目指す。	参加者数 開催数 開催経費 収入	1000人 1回 700,000円 -	1500人 1回 857,407円 247,000円	4年ぶりの本格開催となり例年よりも多く来場者があった。初の試みとしてキルギス共和国より取り寄せた遊牧民の家「ボズウイ」の骨組みを展示すると、訪れた来訪者は珍しい建物に興味を示し多文化理解に繋げることが出来た。国際交流屋台村では世界各国の飲食、物品販売を実施し大盛況に終わった。このイベントを三重テレビ等多数のメディアに取り上げてもらったことで、この活動がより多くの市民等に認知され、交流の輪がより広	継続	1000人 1回 650,000円 -						
3		伊賀市民美術展覧会 （市展「いが」）	企画振興部 文化振興課 （公財）伊賀市文化都市協会		1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅱ 3-Ⅰ 4-Ⅰ 5-Ⅱ 7-Ⅰ	市民の造形芸術の創作意欲を高めていただくとともに、市民文化の向上に寄与する	参加者数 開催数 開催経費 収入	1,400人 1回 210,000円 100,000円	1,029人 1回 593,417円 0円	応募点数に大きな変化はなかったが、昨年度から会場入場者数は増加。高校生からの出展が全体の3分の1あり、良い傾向である。	継続	1,400人 1回 625,000円 -	6-3 文化・芸術	満足度 参画度	54.5% 38.6%	46.6% 37.3%		
4		伊賀市民文化祭	伊賀市民文化祭実行委員会 企画振興部 文化振興課	伊賀芸術文化協会、各支所管内サークル連絡協議会、各活動ジャンル代表者	1-Ⅰ 1-Ⅱ 3-Ⅰ 7-Ⅰ 7-Ⅱ	文化芸術活動に取り組む市民の日頃の活動の成果を発表する場として開催することで、市民の文化意識と活動の向上を図る。	参加者数 開催数 開催経費 収入	2,000人 1回 1,998,000円 350,000円	1,759人 1回 1,835,820円 283,500円	目標の入場者数は達成したが、部門によって入場者数に大きく差があるため、どの部門でも人を呼べるようさらに工夫していく。	継続	2,000人 1回 1,976,000円 300,000円						
5		市役所本庁舎を使った美術作品の展示	企画振興部 文化振興課美術博物館 建設準備室		1-Ⅰ 3-Ⅱ 4-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅱ 7-Ⅰ	市が所蔵する美術作品を、来庁者の多い1階ロビーに展示する。また、4階市民ミニギャラリーを、市民に広く絵画等の展示場所を提供することで、市民の文化芸術活動の発表の場を確保す	参加者数 開催数 開催経費 収入	- 12回 0円 0円	- 12回 0円 0円	毎月展示を行い、市民の皆さんが文化芸術に触れる機会の創出に努めた。展示作品保護への対応に課題を感じている。	継続	- 12回 0円 0円						
6		第3回悠々セミナー 映画鑑賞会「東京物語」（三重県にゆかりある小津安二郎監督の代表作）	教育委員会事務局 生涯学習課		1-Ⅰ	三重県にゆかりのある小津安二郎監督の生誕120年・没後60年を記念して、世界で高く評価されている小津監督の作品（代表作「東京物語」）を上映し、参加者に親しんでいただく。	参加者数 開催数 開催経費 収入	60人 1回 - -	63人 1回 - -	参加者の満足度「大変満足」「ある程度満足」合わせて86%								
7		青山ふるさと美術文化展覧会	青山文化サークル連絡協議会	教育委員会事務局 生涯学習課	1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅱ 3-Ⅱ 7-Ⅰ	青山地域で日頃行われている活動の成果を発表・展示することで、多くの市民への文化意識の向上につなげる。	参加者数 開催数 開催経費 収入	- 1 0 0	- 1 - -	日頃の文化芸術活動の成果を展示することで、来場者に文化芸術の魅力を発信することができた。								
8		青山ふるさと芸能発表会	青山文化サークル連絡協議会	教育委員会事務局 生涯学習課	1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅱ 3-Ⅱ 7-Ⅰ	青山地域で日頃行われている活動の成果を発表することで、多くの市民への文化意識の向上につなげる。	参加者数 開催数 開催経費 収入	- 1 - -	- 1 - -	各種サークルの発表を通じて、来場者に文化芸術の魅力を発信することができた。								
9		サークルまつり	上野サークル協議会	教育委員会事務局 生涯学習課	1-Ⅱ 1-Ⅱ 2-Ⅱ 3-Ⅱ 7-Ⅰ	上野サークル協議会会員の紹介、活動発表および会員相互の交流を図る。また、日頃の成果を発表することで、多くの市民への文化意識の向上につなげる。	参加者数 開催数 開催経費 収入	- 1 - -	- 1 - -	各種サークルの発表や展示があり、来場者に文化芸術の魅力を発信することができた。								
10		やまなみ文化祭	やまなみ文化協会	教育委員会事務局 生涯学習課	1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅱ 3-Ⅱ 7-Ⅰ	やまなみ文化協会加盟団体の紹介、活動発表および会員相互の交流を図る。また、日頃の成果を発表することで、多くの市民への文化意識の向上につなげる。	参加者数 開催数 開催経費 収入	- 1 - -	- 1 - -	各種サークルの発表を通じて、来場者に文化芸術の魅力を発信することができた。								
11		あやま文化交流会	あやま文化協会	教育委員会事務局 生涯学習課	1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅱ 3-Ⅱ 7-Ⅰ	地域に活力と潤いのある文化的な街づくりを目指した活動および会員相互の交流を図る。また、日頃の成果を発表することで、多くの市民への文化意識の向上につなげる。	参加者数 開催数 開催経費 収入	- 1 - -	- 1 - -	各種サークル、グループの発表を通じて、来場者に文化芸術の魅力を発信することができた。								
12		島ヶ原文化サークルまつり	島ヶ原文化サークル連絡協議会	教育委員会事務局 生涯学習課	1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅱ 3-Ⅱ 7-Ⅰ	サークル団体の活動発表および会員相互の交流を図る。また、日頃の成果を発表することで、多くの市民への文化意識の向上につなげる。	参加者数 開催数 開催経費 収入	- 1 - -	- 1 - -	各種サークル、グループの発表を通じて、来場者に文化芸術の魅力を発信することができた。								
13	新	伊賀市健康マイレージ	伊賀市健康福祉部健康推進課	伊賀市文化都市協会	7-Ⅰ	市民が主体的に健康づくりを行うことで、健康の保持増進を図り、健康寿命を延伸する。賞品の中にクラシックコンサートチケットを入れることによりより多くの市民が文化芸術に触れあえる機会を創出する。	参加者数 開催数 開催経費 収入	300人 回 円 円	338人 回 円 円	今後も継続して事業を実施することによりより多くの市民が文化芸術に触れあえる機会を創出するよう努める。		300人 回 円 円						
14	新	作品展示（障害者週間啓発事業）	伊賀市健康福祉部障がい福祉課	伊賀市障害者福祉連盟、市内障害福祉サービス事業所など	1-Ⅱ 2-Ⅰ 7-Ⅰ	障害者基本法に基づき、毎年12月3日から12月9日までの期間は「障害者週間」と定められている。この期間を利用して、障がいに関する啓発活動を行うことにより、地域住民の理解と認識を更に深めることを目的とする。	参加者数 開催数 開催経費 収入	- 1 - -	- 1 - -	①ギャラリー列車及びにんまるバス内については6団体、②伊賀市役所本庁1回市民スペースについては8団体の法人等より作品の提供をいただき展示を行った。障がいのある人の作品を見ていただくことで、障がいに関する理解や認識の向上につながった。入場受付やアンケートをしているものではないため、成果の可視化ができず、改善等につなげにくいことが課題と考える。		1 - -						

2023(令和5)年度 伊賀市文化振興プラン 事業カード提出一覧(伊賀市)

(令和6年5月8日現在)

資料2

【基本方針2】子どもたちが文化芸術を体感できる機会の拡充（施策の方向Ⅰ 子どもたちの心を豊かに、Ⅱ 成長に即した文化芸術の提供）														
No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン 基本方針	事業目的	R5 計画時	R5 実績	R5 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R6 方向性	R6 計画時	市総合計画 施策	まちづくりアンケート	
15		読み聞かせ会	教育委員会事務局 上野図書館・図書室、生涯学習課	読み聞かせボランティア (いがぐり、よもよも、ちいさなねこ、おはなしコットン、はあと&はあと、きらきら、だっこ、ひつじ、どようこ、お話の国アリス、kikoきこ、みなみ風他個人)	1-I 1-II 2-I 2-II 3-I 3-II 4-I 7-I 7-II	幼い頃から、読み聞かせをすることで、言葉やおはなしの世界を知り、本に親しむ機会を作る。また、図書館(室)での読み聞かせ会に参加することで、絵本や本、図書館に親しみを持ち、読書や図書館利用につなげていくため。	参加者数	-	-	・従事ボランティアの高齢化、人員不足が課題だが、2022年度に設立した読み聞かせボランティアグループが読み聞かせ会を開催することができた。 ・参加者が低年齢化傾向にある。	継続	-	5-5 生涯学習	満足度 48.5%
							開催数	107回	124回					
							開催経費	-	-					
							収入	-	-					
							支出	-	-					
16		ファミリースマイルアップ講座	人権生活環境部 子育て包括支援センター 男女共同参画センター 伊賀市文化都市協会	2-I 2-II	子育て世代の家族みんなで楽しく人権感覚を養うことで、ワーク・ライフ・バランス(WLB)の実現につなげる。	参加者数	人	人	ブレイルームでの開催はアットホームな雰囲気で行うことができた。参加人数が多い場合は大きな部屋を準備する必要もある	継続	-		参画度 32.2%	
						開催数	1回	1回						
						開催経費	45,000円	30,000円						
						収入	0円	0円						
						支出	0円	0円						
17		学校アウトリーチ事業	(公財)伊賀市文化都市協会	学校教育課	2-I 2-II 3-I 3-II	音楽やアートに触れる機会が少ない教育現場にアーティストを派遣し、子どもたちに感動を与え心豊かに育つことを願った事業。4か年にわたり市内全28小中学校で実施する方針。	参加者数				1000			
							開催数				7			
							開催経費							
							収入							
							支出							
18		上野天神祭り、学びのウォーク	伊賀市教育委員会生涯学習課	教育委員会事務局文化財課	2-I 2-II 5-I	上野天神祭育山の日に、上野天神祭のダンジリ行事や鬼行列について学ぶ機会を持つ。	参加者数	20人	30人	子どもアンケートより、「だんじりに乗れてうれしかった」といった回答が多数あった。 保護者の満足度「大変満足」「ある程度満足」合わせて100%	継続	10組		
							開催数	1回	1回			1回		
							開催経費	0	0			0円		
							収入	0	0			0円		
							支出	0	0			0円		
19		上野天神祭り、学びのウォーク	伊賀市教育委員会文化財課	生涯学習課・上野美術保存会	2-I 2-II	上野城下町や上野天神祭に触れ親しみ合う機会づくりの提供(上野天神祭県費補助の活用事業)	参加者数	20人	30人	足揃えの儀の時間変更や担当する鬼町によって出発場所である相生町への移動時間を考慮しなくてはならないため、鬼町への見学が出来なかった。日時など考慮し鬼町、だんじり町両方を見学できるよう検討する。	継続	20人		
							開催数	1回	1回			1回		
							開催経費	0	0			0円		
							収入	0	0			0円		
							支出	0	0			0円		
20		ふるさと学習事業 先人に学ぶ 「しめ飾り」を作ろう	上野児童福祉会連合会	伊賀市教育委員会生涯学習課	2-I 2-II 1-I	子どもたちが心身ともにゆとりのある生活を送るため、郷土の産業や伝統文化・環境などの体験を通し、ふるさとの良さを再発見するとともに、多くの友だちとつながる機会とする。	参加者数	30人	14人	参加者は多くなかったが、参加した子どもたちは一生懸命にしめ飾りに挑戦していた。				
							開催数	1	1					
							開催経費	0	0					
							収入	0	0					
							支出	0	0					
21		ふるさと学習事業 城下町さまざま体験	上野児童福祉会連合会	伊賀市教育委員会生涯学習課	2-I 2-II 1-I	子どもたちが心身ともにゆとりのある生活を送るため、郷土の産業や伝統文化・環境などの体験を通し、ふるさとの良さを再発見するとともに、多くの友だちとつながる機会とする。	参加者数	20人	17人	参加した子どもたちは大いに学び、大いに楽しんでいたが、定員に満たず、啓発の仕方が課題だと感じた。				
							開催数	1	1					
							開催経費	0	0					
							収入	0	0					
							支出	0	0					
22	新	ふるさと学習事業 歴史探訪～芭蕉翁記念館から 芭蕉ゆかりの地を訪ねて～	上野児童福祉会連合会	伊賀市教育委員会生涯学習課	2-I 2-II 1-I 5-I	子どもたちが心身ともにゆとりのある生活を送るため、郷土の産業や伝統文化・環境などの体験を通し、ふるさとの良さを再発見するとともに、多くの友だちとつながる機会とする。	参加者数				20人			
							開催数				1回			
							開催経費				0円			
							収入				0円			
							支出				0円			
23	新	ダンボールアートで恐竜の卵を 制作	市内保育園(所)・幼稚園 園・認定こども園	伊賀市文化都市協会	2-I 2-II	伊賀市文化都市協会が行う、ダンボールアート作家が、恐竜を制作し、伊賀市内保育所(園)・幼稚園・認定こども園の年長児が、各園でダンボールで恐竜の卵を制作し、作家の制作した恐竜と一緒に卵を一括して展示する。	参加者数	1120	1134	制作したものを園だけの展示ではなく、市内全園が一度に介して展示するのでたくさんの方に見てもらえてよかった。				
							開催数	2	2					
							開催経費	0	0					
							収入	0	0					
							支出	0	0					

【基本方針3】担い手や後継者を育成し次世代へと繋ぐ（施策の方向Ⅰ 人づくりとまちづくり、Ⅱ 多様な人材活用による文化芸術の振興）																
No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン 基本方針	事業目的		R5 計画時	R5 実績	R5 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R6 方向性	R6 計画時	市総合計画 施策	まちづくりアンケート		
														R4 R5速報値		
24		伊賀市こども能楽教室	企画振興部 文化振興課		1-Ⅰ 2-Ⅰ 2-Ⅱ 4-Ⅱ 5-Ⅰ	伊賀市は能楽創世観阿弥の生誕地と言われており、毎年秋に開催される上野城新能は35年以上の歴史がある。 こうした地域の文化や伝統芸能を次世代に継承していくことを目的に、こども能楽教室を開催する。	参加者数 開催数 開催経費 収入	10人 17回 580,000円 30,000円	4人 17回 240,541円 240,541円	能楽教室の開催により、地域の文化と伝統芸能に対するこどもたちの関心を高めることができた。	継続 (文化振興課 →生涯学習課)		6-4 歴史・文化 遺産	満足度 参画度	58.5% 39.2%	63.4% 36.6%
25	新	こども能楽教室	教育委員会事務局 生涯学習課		2-Ⅰ 2-Ⅱ	「能」をつくりあげた観阿弥のふるさと伊賀市において、日本の伝統文化である「能」を楽しむ体験する。	参加者数 開催数 開催経費 収入					10人 20回 220,000円 30,000円				
26		上野城新能	上野城新能実施委員会 (企画振興部文化振興課、(公財)伊賀文化産業協会、(一社)伊賀都市協会)	伊賀市、伊賀市教育委員会、(公財)伊賀文化産業協会、(一社)伊賀上野観光協会 ほか	2-Ⅰ 2-Ⅱ 3-Ⅰ 5-Ⅰ	能楽創世観阿弥の生誕地である伊賀市において、毎年中秋の名月の頃に行われる上野城新能を開催することで、伝統文化の継承、発信を図るとともに、市民等が伝統文化に触れる機会を創出する。	参加者数 開催数 開催経費 収入	250人 1回 2,840,000円 2,840,000円	283人 1回 2,585,982円 3,065,132円	新型コロナの制限がなくなり、定員増や呈茶を再開、雨天時のバスの手配など、内容を充実させた。今後更なるグレードアップを図る。	継続	300人 1回 7,630,000円 7,630,000円				
27	新	伝統的工芸品文化振興事業 (伊賀焼)	伊賀市産業振興部商工労働課	伊賀焼振興協同組合	2-Ⅰ 2-Ⅱ 3-Ⅱ 5-Ⅰ	伊賀市の伝統的工芸品である伊賀焼に親しみ、地域固有の歴史や文化に対する関心を高めること伊賀焼の認知度向上と振興を図る。	参加者数 開催数 開催経費 収入					100人 4回	5-5 商工業・産業立地	満足度 参画度	39.8% 47.0%	
28	新	伝統的工芸品文化振興事業 (伊賀くみひも)	伊賀市産業振興部商工労働課	三重県組紐協同組合	2-Ⅰ 2-Ⅱ 3-Ⅱ 5-Ⅰ	伊賀市の伝統的工芸品である伊賀くみひもに親しみ、地域固有の歴史や文化に対する関心を高めること伊賀くみひもの認知度向上と振興を図る。	参加者数 開催数 開催経費 収入					20 2 0 0				
29		伊賀くみひも作り(子どもと保護者の体験教室)	教育委員会事務局 生涯学習課	三重県組紐協同組合	2-Ⅰ 2-Ⅱ 3-Ⅰ	伊賀市の伝統産業であるくみひも作りを子どもの頃から体験し、組紐とはどういうものか、その美しさと昔から続く技術にふれ、組紐の魅力に関心を持ち、伝承することの大切さを感じてもらおう。	参加者数 開催数 開催経費 収入	10組(20人) 1回 30,000 10,000	13組(30人) 1回 45,000 10,000	10組の募集に対し、81組の申し込みがあったなか、抽選により13組を選んだ。子どもたちは伊賀くみひもの成果物に大満足の様子であった。 保護者の満足度「大変満足」「ある程度満足」合わせて93%	継続	20組(40人) 1 60,000 28,000				
30		陶芸教室(子どもと保護者の体験教室)	教育委員会事務局 生涯学習課	伊賀焼伝統産業会館	2-Ⅰ 2-Ⅱ 3-Ⅰ	伊賀市の伝統文化の一つである陶芸を、産地の丸柱で体験することで、伊賀焼の楽しさやその趣深さを学ぶ。	参加者数 開催数 開催経費 収入	10組(20人) 1回 23,000 51,750	19組(45人) 1回 51,750	10組の募集に対し69組の申し込みがあったなか、抽選により20組を選んだ。子どもたちは伝統工芸士にご指導いただきながら、陶芸体験を楽しんでいた。 保護者の満足度「大変満足」「ある程度満足」合わせて100%	継続	20組(40人) 1 34,000 -				

【基本方針4】施設の整備・有効活用による文化芸術環境の整備（施策の方向Ⅰ 施設の管理と機能の発揮、Ⅱ 施設の保存と有効活用）															
No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン 基本方針	事業目的		R5 計画時	R5 実績	R5 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R6 方向性	R6 計画時	市総合計画 施策	まちづくりアンケート	
														R4	R5速報値
31		文化ホール改修事業	企画振興部 文化振興課		4-Ⅰ 4-Ⅱ	経年劣化した設備の改修等を行う。また、施設長寿命化計画により施設利用スケジュールや財源調整等により今後大規模改修を行う。	参加者数	-	-	伊賀市文化会館等の文化ホールは経年による施設の老朽化が進んでおり、計画的な設備更新、施設改修を行う必要がある。	継続	-	6-3 文化・芸術	満足度	54.5%
							開催数	-	-			46.6%			
							開催経費	41,195,000円	38,408,700円			38.6%			
							収入	-	-			37.3%			
32		文化施設改修事業	企画振興部 文化振興課		4-Ⅰ 4-Ⅱ	令和6年の芭蕉翁生誕380年に合わせて経年劣化した蓑虫庵芭蕉堂の茅葺屋根修繕等を行う。	参加者数	-	-	劣化した蓑虫庵月見堂及び茶室待合改修工事、芭蕉堂茅葺屋根修繕工事、庭園整備などを行った。	継続	-			
							開催数	-	-						
							開催経費	11,913,000円	15,390,100円			6.930.000円			
							収入	-	-						
33		文化施設整備事業	企画振興部 文化振興課		5-Ⅰ 4-Ⅰ 4-Ⅱ 6-Ⅰ 7-Ⅰ 7-Ⅱ	遺贈を受けた岸宏子邸を活用し、地域文化としての文学の振興を図る。	参加者数	-	-	改修工事、展示準備、指定管理者の指定を行い、予定通り12月に文学館として開館することができた。 今後、多くのの人に観覧や施設利用をさせていただき活用していく。	中止・廃止	-			
							開催数	-	-						
							開催経費	32,785,000円	30,867,935円						
							収入	-	-						
34		伊賀市美術館博物館建設	企画振興部 美術館博物館建設準備室		1-Ⅰ 1-Ⅱ 4-Ⅱ 5-Ⅰ 5-Ⅱ	伊賀市文化振興ビジョンでは、基本方針として「誰もが文化芸術に触れ合える機会の創出」や、「施設の整備・有効活用により文化芸術環境を整える」ことを掲げている。 このため、市に寄贈された美術作品や文化財などを適切に保管・研究・活用するための美術博物館について、過去より建設の議論が行われてきた芭蕉翁記念館の機能も含めた施設を整備する。	参加者数	-	-	伊賀市美術館博物館建設準備委員会を設置し、コンセプトとなる基本構想の検討を進め、中間案を策定し、パブリックコメントを徴することができた。	継続 基本計画策定	-			
							開催数	-	-						
							開催経費	-	-						
							収入	-	-						
								基本構想中 間案策定	基本構想中 間案策定						

【基本方針5】歴史と風土が育む文化芸術の継承と新たな文化芸術の創造（施策の方向Ⅰ 郷土が育んできた歴史・文化の再評価、Ⅱ 新しい文化芸術の創造）																
No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン 基本方針	事業目的	参加者数 開催数 開催経費 収入	R5 計画時	R5 実績	R5 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R6 方向性	R6 計画時	市総合計画 施策	まちづくりアンケート	R4	R5速報値
35		デジタルミュージアム 秘蔵の国 伊賀	伊賀市(伊賀市上野図書館・文化財課・文化振興課)	(一社)伊賀上野観光協会	1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅰ 2-Ⅱ 3-Ⅰ 3-Ⅱ 4-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅰ 5-Ⅱ	伊賀市等が所蔵する多くの歴史資料等をインターネット上で公開することで、子どもたちが学校の授業で学ぶとともに、地域においても文化活動として役立てていただくため、また、全国の人に伊賀の歴史や文化を知っていただくため、魅力発信ツールとして活用していく。	参加者数 開催数 開催経費 収入	- - 792,000円 -	- - 792,000円 -	・貴重な資料をインターネットにより多くの方に閲覧してもらえる ・郷土教育担当の教職員の研修の場において、使用説明を行う ・市民に更なる周知が必要。	継続	- - 792,000円 -	5-5 生涯学習	満足度 参画度	48.5% 32.2%	45.8% 32.3%
36		郷土の歴史夜咄会	教育委員会事務局 上野図書館		1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅰ 3-Ⅰ 3-Ⅱ 4-Ⅰ 5-Ⅰ 5-Ⅱ	郷土史を次世代に伝え、研究する人材を育むことを目的に、学びの機会を提供するため。	参加者数 開催数 開催経費 収入	- 7回 - -	- 7回 - -	・参加者のほとんどが60歳以上であり、固定の参加者が多い。 ・若い方の参加が少ないが、伊賀の牧野富太郎と題した「黒川喬雄」氏や県立美術館で展覧会中であった「日根野作三」氏をテーマにした回は、若い方にも参加していただけた。	継続	- 5回 - -				
37		歴史貴重資料企画展示	教育委員会事務局 上野図書館		1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅰ 4-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅰ 5-Ⅱ	伊賀市上野図書館が所蔵する貴重な歴史資料をテーマを決め、展示することで、郷土の歴史や文化について知る機会を設ける。また、展示により郷土への愛着心や興味を養い、調べ物や貸出にもつなげていくため。	参加者数 開催数 開催経費 収入	- 4回 - -	- 4回 - -	・企画展示のみの観覧利用は少ないように感じる。 ・学習室を利用する中高生にも、興味を持って見てもらえるような内容にする必要がある。 ・名張市のFM番組で取り上げてもらう機会が得られた。	継続	- 4回 - -				
38		芭蕉祭(式典・月見の献立・全国俳句大会等)	企画振興部 文化振興課 (公財)芭蕉翁顕彰会 (一部委託)		1-Ⅰ 2-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅰ 6-Ⅰ 6-Ⅱ 7-Ⅰ 7-Ⅱ	俳聖松尾芭蕉の功績を称え偉業を偲び、俳諧及び俳句の啓発と、芭蕉翁生誕地のPRを進める。	参加者数 開催数 開催経費 収入	200 1 9,423,000円 -	220 1 11,118,748円 -	コロナウイルスの影響で中止していた飲食を含む協賛事業を復活させ、式典を開催した。	継続	200人 1回 11,118,748円 0円	6-3 文化・芸術	満足度 参画度	54.5% 38.6%	46.6% 37.3%
39		芭蕉生誕380周年	企画振興部 文化振興課		1-Ⅰ 2-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅰ 6-Ⅰ 6-Ⅱ 7-Ⅰ 7-Ⅱ	2024(令和6)年にあたる芭蕉翁の生誕380年を記念した事業を行い、芭蕉翁生誕の地である伊賀市の文化振興、シビックプライドの醸成等を図る。	参加者数 開催数 開催経費 収入	- - 5,000,000円 -	- - 5,000,000円 -	令和5年度は、実行委員会を立ち上げ、オープニングイベントの開催などを行った。令和6年度は過去の実施内容を参考に実行委員会での検討を進める。	継続(周年事業)	- - 20,000,000円 -				
40		芭蕉翁俳句懸垂幕掲示	企画振興部 文化振興課		1-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅰ 5-Ⅱ 6-Ⅰ 6-Ⅱ	芭蕉翁の生誕地であることをPRするとともに、市民等に芭蕉の句に親しんでもらうことを季節に合った「芭蕉の俳句」の懸垂幕を掲示し啓発に努める。	参加者数 開催数 開催経費 収入	- 4回 158,400円 0円	- 0回 0円 -	本庁舎駐車場の懸垂幕ポールに「芭蕉の俳句」を記載した懸垂幕を掲示した。	継続	- 4回 158,400円 0円				
41		芭蕉翁記念館ギャラリートーク	企画振興部 文化振興課		1-Ⅰ 3-Ⅰ 4-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅰ 5-Ⅱ 6-Ⅰ	芭蕉翁記念館の展示について解説し理解を深めてもらうとともに、展示の観覧に付加価値を与えリピーターの増加を図る。	参加者数 開催数 開催経費 収入	96人 12回 0円 0円	100人 12回 0円 0円	芭蕉翁記念館の企画展にあわせ、月に1回程度学芸員が展示室で解説を行った。子どもの参加者が期待できる連休中の実施の際には体験的な内容も吹併せて実施する。	継続	96人 12回 0円 0円				
42		第4回悠々セミナー 兼 芭蕉祭記念講演会—歌枕俳枕講座—	教育委員会事務局 生涯学習課 文化振興課		5-Ⅰ	芭蕉祭の関連行事として、文部科学大臣賞を受賞された方を講師として講演会を行い、芭蕉顕彰につなげる。	参加者数 開催数 開催経費 収入	60人 1回 0円 0円	58人 1回 0円 0円	参加者の満足度「大変満足」「ある程度満足」合わせて91%						
43		しぐれ忌	企画振興部 文化振興課 (公財)芭蕉翁顕彰会 (再委託 山出区)		1-Ⅰ 2-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅰ 6-Ⅰ 6-Ⅱ 7-Ⅰ 7-Ⅱ	俳聖松尾芭蕉の功績を称え偉業を偲び、俳諧及び俳句の啓発と、芭蕉翁生誕地のPRを進める。	参加者数 開催数 開催経費 収入	100人 1回 - 0円	80人 1回 - 0円	継続して実施することができた。	継続	100人 1回 - 0円				
44		しぐれ忌俳句大会	伊賀支所	しぐれ忌俳句大会実行委員会	1-Ⅰ 5-Ⅰ	俳句啓発、文化交流に寄与すること	参加者数 開催数 開催経費 収入	100人 1回 280,000円 10,000円	83人 1回 241,694円 10,000円	コロナ禍以降、コロナ禍前の参加者人数には戻っていないが、目的はほぼ達成されているが、参加者が固定化してきている。	継続	100人 1回 280,000円 10,000円				
45		土芳を偲ぶ俳句会	企画振興部 文化振興課 (公財)芭蕉翁顕彰会 (委託)		1-Ⅰ 2-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅰ 6-Ⅰ 6-Ⅱ 7-Ⅰ 7-Ⅱ	芭蕉翁とその弟子である土芳の功績を世に発信し、俳諧及び俳句の啓発を推進する。	参加者数 開催数 開催経費 収入	30人 1回 - 0円	30人 1回 - 0円	芭蕉の門人の服部土芳の命日に、句会を行った。	継続	30人 1回 - 0円				
46		文部科学大臣賞選考・歌枕俳枕講座	企画振興部 文化振興課 (講座開催は生涯学習課「悠々講座」として)		1-Ⅰ 5-Ⅰ 6-Ⅰ 6-Ⅱ 7-Ⅰ	芭蕉顕彰の一環として、連句、俳諧、俳句などの俳文学関係著書優秀作を表彰し、俳句啓発に繋げる。	参加者数 開催数 開催経費 収入	200人 1回 1,310,000円 0円	200人 1回 1,171,180円 0円	文部科学大臣賞受賞者による記念講演会を開催した。	継続	200人 1回 11,118,748円 0円				
47		文学振興事業	企画振興部 文化振興課 伊賀文学振興会(委託)		1-Ⅰ 2-Ⅰ 3-Ⅱ 5-Ⅰ 5-Ⅱ 7-Ⅰ	伊賀にゆかりの作家、作品の顕彰等を通じて、地域文化としての文学の振興を図る。	参加者数 開催数 開催経費 収入	- - 400,000円 -	- - 400,000円 -	・遺贈を受けた岸宏子邸を活用し、地域文化としての文学の振興を図った。 ・横光利一を偲ぶ「雪解のつどい」など文学振興に資する事業を実施した。	継続	- - 400,000円 -				
48		いがまち3偉人展示	伊賀支所	いがまち3偉人顕彰会	2-Ⅰ 4-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅰ	文豪横光利一、俳聖松尾芭蕉、医学博士橋本策の偉業を讃え、顕彰を行う。	参加者数 開催数 開催経費 収入	50人 通年 - -	33人 通年 - -	今後は地域のイベントとコラボするなど周知に努めたい。	継続	50人 通年 0 0				

【基本方針5】歴史と風土が育む文化芸術の継承と新たな文化芸術の創造（施策の方向Ⅰ 郷土が育んできた歴史・文化の再評価、Ⅱ 新しい文化芸術の創造）																	
No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン 基本方針	事業目的		R5		R5 実績	R5 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R6 方向性	R6 計画時	市総合計画 施策	まちづくりアンケート		
								計画時							R4	R5速報値	
49		上野天神祭お囃子体験会	教育委員会事務局 文化財課	生涯学習課・上野文化 美術保存会	3-Ⅰ 3-Ⅱ	江戸時代から語り継がれてきた無形民俗文化文化財の継承(上野天神祭県費補助の活用事業)	参加者数	10人	13人	定員を超えた申込があり、町との協議により13人の参加者で実施した。今回は、2組に分けることで実施が可能であったが、町によっては用具や指導者が不足するため、定員については毎回検討が必要である。	継続		10人	6-4 歴史・文化 遺産	満足度	58.5%	63.4%
	開催数						1回	1回	1回								
	開催経費						0円	0円	0円								
	収入						0円	0円	0円								
50		「上野天神祭ダンジリ行事」のお囃子の演奏を体験しよう！ (子どもと保護者の体験教室)	教育委員会事務局 生涯学習課	上野福居町囃子方の皆さん	2-Ⅰ 2-Ⅱ 5-Ⅰ	だんじり町の子どもたち以外ではなかなか体験することのできないお囃子を、指導を受けながら体験することによって、伊賀市の伝統的な「上野天神祭のダンジリ行事」への参画や、文化継承に興味を持ってもらう。	参加者数	10組(20人)	12組(26人)	子どもアンケートより、「難しかったけど楽しかった」といった回答が多かった。 保護者の満足度「大変満足」「ある程度満足」合わせて100%	継続		10組		参画度	39.2%	36.6%
	開催数						1回	1回	1回								
	開催経費						0円	0円	0円								
	収入						0円	0円	0円								
51		オオサンショウウオ観察会	教育委員会事務局 文化財課	生涯学習課・大山田郷土の広場	2-Ⅰ 4-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅰ	特別天然記念物に触れ親しみ合う機会づくりの提供	参加者数	10人	12人	観察会前に生態についての勉強会を実施し、資料館近くの河川で観察会を実施した。 生態についての学習や夜間の河川の状態などを知る機会にもなった。水の事故が多発する時期であるので、注意して実施することが必要。	継続		10人				
	開催数						1回	1回	1回								
	開催経費						9,000円	9,000円	9,000円								
	収入						0円	0円	0円								
52		史跡伊賀国庁跡にかかる文化財ウォーク及び文化財講演会	府中地区住民自治協議会	教育委員会事務局 文化財課	1-Ⅰ 2-Ⅰ 5-Ⅰ	史跡伊賀国庁跡の保存整備事業に伴い、史跡伊賀国庁跡や府中地区の歴史・文化の理解を深め、文化財の保存と継承を図っていくため、文化財ウォーク(秋)と文化財講演会(冬)を実施している。	参加者数	40人	36人	本年度は、島ヶ原地内の西念寺や観菩提寺、道中の磨崖仏など古代から近世にいたる文化財を見学した。 府中地区の参加者は増えてきたが、地区外の参加者を増やせるよう検討する。	継続		40人				
	開催数						2回	2回	2回								
	開催経費						0円	0円	0円								
	収入						0円	0円	0円								
53		文化財特別公開	教育委員会事務局 文化財課	(公財)伊賀市文化都市協会	1-Ⅰ 2-Ⅰ 5-Ⅰ 4-Ⅱ	伊賀市は古代伊賀国より都に隣接した地域であり歴史や文化が豊かに残されている。数多く残された文化財の保存と継承には地域の理解や協力が不可欠であり、身近な文化財等を題材としながら伊賀市の歴史や文化を理解を深め、文化財の保存と継承を図りたい。	参加者数	30人	125人	令和5年11月22日 蓮徳寺防犯設備設置事業報告会を実施。蓮徳寺の文化財の説明を実施した。 令和5年11月26日 観菩提寺文化財保存事業事業報告を実施。島ヶ原の文化財についての説明や事業進捗についての説明を実施した。 令和6年1月13日 西蓮寺文化財保存修理事業の事業報告を実施。文化財の説明及び保存修理事業の内容について説明を実施した。 令和6年3月9日 重要文化財である町井家住宅保存修理事業の見学会を実施した。普段は非公開であるが、特別に公開され文化財啓発につながった。	継続		30人				
	開催数						1回	4回	1回								
	開催経費						0円	-	0円								
	収入						0円	-	0円								
54		文化財講座	教育委員会事務局 文化財課	(公財)伊賀市文化都市協会	1-Ⅰ 2-Ⅰ 5-Ⅰ	伊賀市は古代伊賀国より都に隣接した地域であり歴史や文化が豊かに残されている。数多く残された文化財の保存と継承には地域の理解や協力が不可欠であり、身近な文化財等を題材としながら伊賀市の歴史や文化を理解を深め、文化財の保存と継承を図りたい。	参加者数	50人	286人	令和5年6月19日：美旗歴史クラブ(20人) 令和5年7月11日：悠々セミナー(60人) 令和5年7月21日：壬生野地区(50人) 令和5年8月31日：壬生野地区(50人) 令和5年10月3日：青山中1年生(13人) 令和5年10月12日：城之越遺跡見学対応(20人) 令和5年10月26日：花垣地区(33人) 令和5年10月27日：伊賀国分寺跡見学対応(15人) 令和5年11月4日：西条いきいきサロン(8人) 令和6年1月21日：花之本地区(17人)							
	開催数						1回	9回									
	開催経費						0円	-									
	収入						0円	-									
55		大山田郷土資料館企画展	大山田郷土の広場	教育委員会事務局 文化財課	1-Ⅰ 4-Ⅰ 4-Ⅱ 6-Ⅰ	大山田地域の文化や歴史遺産に触れ親しみ合う機会づくりの提供	参加者数	100人	291人	第5回企画展として「暮らしの道具 いまむかし」、第6回企画展「なつかしの校歌」を実施した。夏休みに合わせた体験教室や閉校した校歌を懐かしむロビーコンサートなど来館者を増加させる工夫が見られた。	継続		100人				
	開催数						2回	2回	2回								
	開催経費						40,000円	40,000円	60,000円								
	収入						0円	0円	円								
56		三重大学伊賀連携フィールド市民講座	三重大学伊賀連携フィールド	三重大学、上野商工会議所、企画振興部地域創生課	1-Ⅱ 5-Ⅰ 5-Ⅱ 6-Ⅰ	三重大学伊賀連携フィールドを拠点として、国立大学法人三重大学、上野商工会議所、伊賀市の三者間で連携協力し、教育・文化・研究の推進を図るとともに、地域振興上の諸課題に適切に対応することにより、伊賀地域の充実・発展に資する。	参加者数	7,000人	36,048人	実績は対面開催の参加者数+Youtube動画再生回数を記載している。動画再生回数の実績を前年度と比較すると、急増しており、コロナ禍は収束したものの、変わらず動画再生回数の伸びは強いものであると感じた。				6-6 定住・関係 人口	満足度	40%	30.9%
	開催数						-	-									
	開催経費						-	-									
	収入						-	-									

【基本方針6】観光・産業との連携による文化芸術の全国発信（施策の方向Ⅰ 文化をツールとした地域活性化、Ⅱ 都市の文化的な顔づくり）																	
No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン 基本方針	事業目的		R5		R5 実績	R5 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R6 方向性	R6 計画時	市総合計画 施策	まちづくりアンケート		
															R4	R5速報値	
57		伊賀上野・城下町のおひなさん	伊賀上野・城下町のおひなさん実行委員会 （産業振興部 観光戦略課）	上野西部地区住民自治協議会産業建設まちづくり部会・上野東町自治会・上野中町自治会・東町商店街振興組合・上野中町商店会・七福神商店会・三重県菓子工業組合上野支部・伊賀鉄道株式会社・一般社団法人伊賀上野観光協会・上野商工会議所・株式会社まちづくり伊賀上野・中町活性化委員会・名阪上野ドライブイン・公益財団法人伊賀市文化都市協会・伊賀焼振興協同組合・萌着付作法学院・全日本和装作法伊賀学院	6-I	中心市街地である城下町の風情ある街並みや観光資源をアピールし、集客交流の促進、地域の活性化や振興を目的に実施する。	参加者数	1,500人	2,014人	現在行政が事務局となり、主として事業を進めているが、今後も事業を継続していくのであれば、企画運営を実行委員会が主体となって行っていく必要がある。	継続		1,500人	3-1 観光	満足度	46.1%	45.5%
							開催数	1回	1回				1回				
							開催経費	481,000円	191,865円				未定				
							収入	481,000円	295,451円								
58		伊賀ぶらり体験博覧会 いがぶら	産業振興部 観光戦略課 いがぶら実行委員会	伊賀市・株式会社まちづくり伊賀上野・上野商工会議所・伊賀市商工会・株式会社大田酒造・伊賀上野ケーブルテレビ・一般社団法人伊賀上野観光協会・公益財団法人伊賀市文化都市協会ほか	6-I	観光客を受け入れ事業主体を全市的に発掘・育成し、着地型観光を推進することを目的とする。	参加者数	1,460人	1,953人	特になし	中止・廃止	着地型観光商品造成は令和6年度より伊賀上野DMOで実施することになったため、市が拠出してほしいがぶら実行委員会負担金は廃止した。					
							開催数	1回	1回								
							開催経費	9,159,000円	7,973,727円								
							収入	8,232,000円	9,349,944円								

2023(令和5)年度 伊賀市文化振興プラン 事業カード提出一覧(伊賀市)													(令和6年5月8日現在)		資料2	
【基本方針6】観光・産業との連携による文化芸術の全国発信（施策の方向Ⅰ 文化をツールとした地域活性化、Ⅱ 都市の文化的な顔づくり）																
No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン 基本方針	事業目的		R5 計画時	R5 実績	R5 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R6 方向性	R6 計画時	市総合計画 施策	まちづくりアンケート		
														R4	R5速報値	
59		日本遺産 忍びの里伊賀・甲賀～リアル忍者を求めて～ 忍びの里伊賀甲賀忍者協議会事業	産業振興部 観光戦略課 忍びの里伊賀甲賀忍者協議会	伊賀市・甲賀市・伊賀市教育委員会・甲賀市教育委員会・一般社団法人甲賀市観光まちづくり協会・信楽町観光協会・一般社団法人伊賀上野観光協会	1-Ⅱ 3-Ⅱ 4-Ⅱ 6-Ⅰ	日本遺産の認定(平成29年4月28日認定)を受けた伊賀・甲賀が世界に誇る共通の観光資源である忍者について、伊賀流と甲賀流が連携することで、広域的に観光振興を図ることを目的とする。	参加者数	各市の主要忍者関連施設の来訪者数(伊賀流忍者博物館・甲賀流リアル忍者館)	各市の主要忍者関連施設の来訪者数(伊賀流忍者博物館・甲賀流リアル忍者館)	忍びの里伊賀甲賀忍者協議会が作成した地域活性化計画に基づき、事業を推進した。	継続		各市の主要忍者関連施設の来訪者数(伊賀流忍者博物館・甲賀流リアル忍者館)			
							開催数	-	-			-				
							開催経費	3,233,000円	20,299,000円			14,312,000円				
							収入	3,233,000円	20,299,000円			14,312,000円				
60		ライトアップイベントお城のまわり	お城の周りライトアップイベント実施委員会(産業振興部中心市街地推進課)	伊賀市文化都市協会・伊賀上野観光協会・上野商工会議所・まちづくり伊賀上野	6-Ⅰ 6-Ⅱ	市街地の歴史的・文化的建造物等をライトアップすることで、地域資源のすばらしさを市民及び来街者に再確認してもらう。	参加者数	10,000人	15,000人	来場者数は、目標値18,000人に対し、15,000人となった。コロナ禍前の来場者数に戻ってきている。また、アンケートの結果から満足度が高いイベントとなっている。さらに多くの人に来てもらい、満足してもらえるよう、安全面の対策や情報発信もより充実した内容を検討する。	継続	18,000人	3-4 中心市街地 活性化	満足度 参画度	30.9% 41.5%	27.8% 36.5%
							開催数	1回	1回			1回				
							開催経費	3,110,000円	3,009,870円			3,350,000円				
							収入	0円	41,217円			0円				

【基本方針7】文化芸術を通した社会的課題への取り組み（施策の方向Ⅰ 社会参加のきっかけづくり、Ⅱ 協働の場の創造）																
No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン 基本方針	事業目的		R5 計画時	R5 実績	R5 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R6 方向性	R6 計画時	市総合計画 施策	まちづくりアンケート		
															R4	R5速報値
61		人権を考える市民の集いほか (差別をなくす強調月間中の人 権講演会等各地区つどい事業)	人権生活環境部 人権政策課 教育委員会事務局	人権啓発地区草の根運 動推進会議連絡会、伊 賀市人権擁護委員協議 会、伊賀市同和教育研 究協議会	1-Ⅰ 2-Ⅰ 3-Ⅰ 7-Ⅰ 7-Ⅱ	11月11日から12月10日の差別をなくす強調月間に、各支所に おいて人権講演会や人権コンサートを実施し、市民の人権意識 の高揚を図る。	参加者数	1000人	606人	11月22日に伊賀市文化会館で行った人権講演会を録画し、録 画上映会として各支所で実施したところ、成果は一定あがった が、地域の取り組みとして実施してほしいという声も受けており、 より地域性のある取り組みとして計画していく必要がある。	継続	1,000人	5-1 人権尊重・ 非核平和	満足度 参画度	58.6% 46.5%	54.1% 42.8%
							開催数	5回	5回			5回				
							開催経費	1266420円	1,148,730円			1,266,420円				
							収入	0円	0円			0円				
62		いきいき未来いが開催事業	いきいき未来いが実行 委員会 人権生活環境部 人権政策課	伊賀市男女共同参画 ネットワーク会議	1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅰ 7-Ⅰ 7-Ⅱ	男女がともに、男女共同参画の意義・目的を学びあい、性別に 関わらずあらゆる場へ参画できる社会の実現をめざす。	参加者数	400人	527人	参加を公募しているものの、関係団体からの参加が多いためア ンケート結果が目標を大きく超えてよい結果となっている。よくて 当たり前という見方もあるが、この層をきっかけに広く全体の意 識改革を目指していくため、意味のある結果と考えるしかし先述 のとおり広く一般に認知されておらず関係団体以外からの参加 者が少ない。また、年齢層も50歳以上の参加者が89%と若者の 参加が少ない。働く世代をターゲットにするため、協賛企業等の 団体への広報を強化する等、新たな広報手段を模索する必要 がある。	継続	400人				
							開催数	1回	1回			1回				
							開催経費	1,157,315円	932,105円			1,140,550円				
							収入	572,000円	458,000円			0円				
63		ひゅーまんフェスタ	ひゅーまんフェスタ実行 委員会 (人権生活環境部 人権政策課)	伊賀市、伊賀市教育委 員会、伊賀市障害者福 祉連盟、伊賀市国際交 流協会、伊賀人権擁護 委員協議会、部落解放 同盟伊賀市協議会、伊 賀市人権学習企業等連 絡会、人権啓発地区草 の根運動推進会議連絡 会、僕らの移住生活	1-Ⅰ 2-Ⅰ 7-Ⅰ 7-Ⅱ	「伊賀市人権尊重都市宣言」に則り、すべての市民の人権が保 障される明るく住みよい地域社会を築くために、市民一人ひと りが、さまざまな人権課題の解決に向けて、さまざまな視点から 学び、考え、行動するきっかけとなること	参加者数	100人	125人	計画よりは多くの集客があったが、展示ブースによっては、参 加者が少ないところがあった。 ・事務局任せの開催となっており、実行委員会が機能していな い。実行委員会形式での開催について再検討する必要がある。	継続	180人				
							開催数	1回	1回			1回				
							開催経費	632,000円	427,313円			488,528円				
							収入	0円	0円			0円				